

公的施設を活用した心の健康、体の健康づくり教室の開催（シルバーカフェフォーラム）

シルバーカフェ

〒390-0877 長野県松本市沢村3-1-8

助成事業の概要

シルバーカフェフォーラムは社会福祉協議会や地元の大学、また各協力団体と連携の元、合計6回の開催を行うことができました。会場は地元の信用金庫の会議室や、公民館や合同庁舎など公の施設を利用出来ました。回数は予定通り行えませんでしたでしたが、300名ほどの参加者を集めることが出来ました。地域の新聞にも大きく扱われ、大きな注目をあびることができました。塩尻市社協様からは、いままで他団体と連携して事業を展開することがなかったのも、とても新鮮で有意義なものを開催できたと誉められました。

事業の成果

講演会やフォーラムなどは参加者を集めることに大変苦勞します。そこで地域の金融機関と連携することとしました。金融機関の会場を格安でお借りし、また来場者も行員の方々にチラシを持ってお声掛けを頂くこととしました。

（1回目～2回目）大きな協力を頂き、ともに多くの皆様にご参加頂くことが出来ました。そして続きまして塩尻市の社会福祉協議会様と共同開催を行いました。前々より他団体と連携した事業を模索されており、特殊詐欺の撲滅勉強会（担当：松本政経塾）を希望され、その勉強会を行いました。日頃から高齢者はオレオレ詐欺や金融取引詐欺などに狙われています。地方都市においてはその被害は顕著であり、50名近くの高齢者の皆様に啓蒙活動を行いました。

またシルバーカフェオリジナルの特殊詐欺撲滅メモ帳を配り、注意を喚起することが出来ました。相続相談や大人の塗り絵コーナー、また社会福祉協議会様が担当いただいた認知症予防の講座に分科会を分かれて開催。その後は長野県のNPO法人みらい基金様やメディビトネット様、松本ヘルスラボ様、松本大学様、信州大学様など多くの団体と連携し、地域の高齢者の安心と安全を提案するプログラムを開催することが出来ました。

特に最後の6回目は約100名のご参加を頂きました。これは松本市様が広報活動に大きく寄与頂き、初めて参加への予約制を取りましたが、毎日電話が鳴り続け嬉しい悲鳴。一年間継続して活動することで、シルバーカフェ生き生きフォーラムの認知度もあがり、多数の応募を頂きました。

当初計画は参加者240名（計12回）の開催を計画し、実際は265名（計7回）の実施となりました。回数こそ計画には至りませんでした。参加者は計画を超えることが出来、これも多くの協力や告知の効果だと思えます。また参加者からは「参加して良かった」というコメントを多数頂きました。

来年以降は共催した各団体で自発的に開催頂ければと考えています。

成果の広報・公表

地域の新聞社に事業の成果を掲載頂きました。（別紙参照）また毎回開催後にA3程度の報告書

が述べられた。乳幼児期からのよりよい働きかけはもちろんであるが、それ以降であっても適切に働きかけること、十分な運動を促す環境を提供することで改善していく可能性がある。一方で、保護者からは、青年期の問題なども出され、こうした問題を専門家と共有すること、また、的確な知識を提供されたことは、今後のダウン症の乳幼児だけではなく、それ以降の青年等に対する関わりがよりよいものとなっていくことが期待される。

■ 成果の広報・公表

成果は、

- ・ホームページ等で公表していく（すでにFace Bookを通しては公表）
- ・福祉系職員の勉強会等で情報（成果）を共有
- ・親の会の勉強会、会報等で情報（成果）を共有

■ 今後の展開

今回、研修会を開催できたことで、発達障害及び感情のコントロール、青年期の知的障害（ダウン症）を持つ者の生活に対する理解が深まったこと、及びどのように関わっていけばよいかのヒントが得られた。しかし、まだ、今回の内容のみでは不十分であること、参加者からも抗した研修会を継続してほしいとの声があったことから、今後も、定期的に研修会を開催していく。ただし、そのためには予算の問題があり、どのように進めて行けるかは検討していく必要がある。

なお、実際に当事業所だけではなく、県内の多くの事業所の方々と同じ場で研修ができたことで、交流もうまれ、勉強会のような形があっても良いのではないかと考えている。